

東北次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 2023 年度第 1 回山形県がん化学療法セミナー
1. 担当分野
薬学研究科
2. 実施年月日
令和 5 年 6 月 18 日
3. 開催場所・開催方法
Zoom による Web 開催
4. 関連分野・領域
がん化学療法
5. 対象者
薬剤師
6. 参加者について
参加者合計人数 : 65 以下の内訳について教えてください 学内参加者数 : 9 学外参加者数 : 56 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学での参加大学数 : 2 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学 <u>以外</u> の参加大学数 : なし なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください (医師、薬剤師、看護師、など)
7. 成果
2023 年 6 月 18 日 (日) に 2023 年度第 1 回山形県がん化学療法セミナーを『CINV、制吐療法』をテーマに Web 形式で開催した。 第一部では総合南東北病院看護部 村田美佳先生と山形大学医学部附属病院薬剤部 金野昇先生よりご講演頂いた。第二部の特別講演では竹田総合病院薬剤科 木本真司先生よりご講演頂いた。 村田先生からは『当院における抗がん剤制吐療法について』と題し、自施設での制吐療法についてご講演頂いた。NK ₁ 受容体拮抗薬として経口アプレピタント製剤を使用していた従来の制吐療法からホスネツピタント製剤へ切り替えを行った経緯について、切替前の課題や問題点、切り替え後のメリットなど自施設の経験を踏まえて講演頂いた。金野先生からは『当院での制吐療法について』と題し、催吐リスクに応じた制吐療法の院内統一に

至った経緯と自施設でのNK₁受容体拮抗薬の使用推移、また、今後のガイドライン改訂を見据えた院内の対応についてご講演頂いた。

木本先生からは『薬剤師だからできる！がん化学療法副作用への取り組み～CINV 対策を中心に～』と題しご講演頂いた。患者と接する際に心掛けている患者力、共感について実症例を踏まえて解説頂いた。自施設で導入した電子患者日記(PRO)を用いた患者指導について提示いただき、お薬手帳を介した地域の保険薬局との薬薬連携や制吐療法に限らない多くの支持療法に対するPBPMの取り組み事例についても解説頂いた。

新たなNK₁受容体拮抗薬の登場やガイドラインの改訂など最新の支持療法について理解することができた有意義な研修会であった。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】